

社会福祉法人ねむの木福祉会
障害児入所施設

ねむの木学園 やさしいお家

社会福祉法人ねむの木福祉会
障害者支援施設

ねむの木学園 星に祈る

社会福祉法人ねむの木福祉会
障害者支援施設

ねむの木学園 感謝の心

学校法人ねむの木学園

特別支援学校ねむの木

教職員募集要項

(2017年度)



理事長・施設長・校長 **本目眞理子**
(宮城まり子)

所在地 〒436-0221

静岡県掛川市上垂木2979-1

TEL <0537>26-3900

FAX <0537>26-3910

<http://www.nemunoki.or.jp>

メール : nemunoki@nemunoki.or.jp



ねむの木学園
概要



エントリー
ボックスは
こちらから

はじめに

1964年、まり子は別府の太陽の家の中村 裕氏と評論家の秋山ちえ子氏に連れられて、オランダのヘット・ドルプに行った。そこは小児の病院で、院長アリ・クラップワイク博士が大人になった時のことを考えて、世界で初めて24時間の国営テレビで訴え、ドイツ・ベルギー等各国から募金が集まり、集まったお金でこのヘット・ドルプは出来上がった。3年後、行ったヘット・ドルプは、大通りにあった。山を越えて3カ国の国境のそばにヘット・ドルプ入口郵便局があった。横に交通公社があった。中には病気に応じてレンガ造りの小さなマンションがたくさんあった。文学館があった。美術館があった。野菜を売っている店もあった。お菓子屋もある。木工場もあった。そして、ヘット・ドルプで逢った、働いている人は脊髄損傷などの車椅子の人が多かった。どんな少しの仕事でも、何かをしていた。もちろん、人々の必要なお金は、そばの国から届いていた。車椅子は走る場所・距離により早さが違った。少しきれいな服装で、車椅子に乗っていなかったら、街を歩いている人と少しも変わらない身なりで、皆、なにか仕事を持っている。働けない人には、国がきちんと見ている。

若い男の人に聞いた。「あなた月給は？」。胸を張るように答えた。「自分の働いた中から税金を払っているよ、僕より重病の人のためにね」。ドキンとしたその誇り高い顔。そのころ日本では、まだ、身体が悪かったり、家庭の環境が悪かったりした子は学校に行けなかった。就学猶予という法があったからだ。

幼いころから、少しでも自分より弱い子にはやさしくしてあげましょうという母の教えは、「やっぱりやるぞ」と決心させた。もう十年も前からまり子が考えに考えていた、何故この子学校へ行けないのかしら…は解決した。なぜなら自分がやろうと決心したから。愛する人、吉行淳之介に相談したら、「難しい仕事だけれど君が十年もその事を考えているのを知っているから」と。

まり子の行動は、始まった。土地はどこに、何も知らないまり子は、「天使が舞い降りるから」と三保の松原を望んだが、国有地だと断られ、静岡の海辺の側に決まった。彼女がどのくらい苦労したか、ここでは書かない。彼女の今を見て、あなたの心と強さと正直さを下さい。これが募集する読み物の始め。あとは事務的なことね。

1 ねむの木学園教育方針・運営方針

集中感覚教育

障害を持つ子の特別に持っている何かを探し出し、情感豊かな人間性の一体化こそこれからの必要であると思われまふ。茶道、国語、音楽、詩などを主に。何故なら茶道の棗の置き場所が、畳の目の3つ目に置くか4つ目に置くかで、1、2と算数にも通じます。

生活指導と学校教育の一体化

生きているうえでたし算・引き算があります。1 + 2 = がわからない子の精神状態・健康状態がわかります。ねむの木学園では、施設・学校教職員が一体となって両方にあたっています。

無学年制の教育

4.5人を見る教師、1人を見るナース、その子のふとした視線に気がつく理学療法士、誰が見つけてもいいではありませんか、その子が1年生の組に入っている15歳でもいいではありませんか。問題は少しでも持っている能力を見つけ出し、伸ばしてあげる事ではないでしょうか？ 誇りある責任ある素敵な私達の仕事です。

ねむの木学園は、両親がいなかったり、虐待を経験した子供もいます。もう7年前のことです。2人で植えたオレンジの実が初めてなった時、パーチェット病が進行して目が全く見えなくなった

子が、オレンジを2人でさわった時言いました。「これまり子さんの色だね、僕見えるよ」その子は現実に目は見えなくとも思い出のはっきりした目を持っていると思いになりません。

多数の子が姉弟と呼びます。「ね、お兄さん」「ね、お姉さん」けれど、子どもは、感情が優れているから「嫌な人、いい人」はすぐにわかりますよ。人間らしくお互いを重んじていきましょう。機能低下や日常の向上をはかるため、美術、お茶、音楽、織物、木工すべての人の可能性を重視した作業療法、いつでも働きかけると共に、いつでも学習しようという意欲を持ち続けましょう。素晴らしい音楽、絵画、外国からのコンサートなどをなるべく多く聞かせましょう。

お互いに人柄を尊重して、助け合い生活したいと思います。あなたの能力を待っています。あなたの忍耐力を待っています。何より、本当のやさしさを待っています。愛と教育をね。

2 役 員

社会福祉法人ねむの木福祉会

理事長	本目真理子	(宮城まり子) ねむの木学園長・特別支援学校ねむの木校長
理事	日野原重明	聖路加国際病院名誉院長
理事	河端正也	東京共済病院名誉院長
理事	大宅映子	西武ホールディングス社外取締役・大宅社一文庫理事長
理事	波多野敬雄	学校法人学習院名誉院長
理事	伊東英幸	公益財団法人ダスキン愛の輪基金顧問
理事	相原三郎	日本ウエルエージング協会顧問
理事	清水公也	山王病院アイセンター センター長
理事	榛村純一	元静岡県掛川市長
監事	山本君治	元掛川市副市長
監事	高橋和己	社会福祉法人福浜会理事長

学校法人ねむの木学園

理事長	本目真理子	(宮城まり子) ねむの木学園長・特別支援学校ねむの木校長
理事	日野原重明	聖路加国際病院名誉院長
理事	瀬戸内寂聴	作家・天台宗僧侶
理事	村井実	日本教育哲学会会長・慶応義塾大学名誉教授
理事	吉田茂	日本工芸会理事長・NPO 学生文化創造 理事長
理事	坂本由紀子	元参議院議員・元静岡県副知事
理事	波多野敬雄	学校法人学習院名誉院長
理事	垂水紀雄	聖林公司 社長
理事	天野一	静岡県議会議員
監事	西巻國夫	元松下電器産業株式会社東京支社秘書室長
監事	古田賢治	元住友電工ネットワークス株式会社監査役
監事	長岡憲保	ながおか内科院長

3 募集内容

(1) 募集職種

障害児入所施設 ねむの木学園 やさしいお家
障害者支援施設 ねむの木学園 星に祈る
障害者支援施設 ねむの木学園 感謝の心
特別支援学校ねむの木 (小・中・高等部)

- ・児童指導員
- ・保育士
- ・生活支援員
- ・介護福祉士
- ・理学療法士
- ・作業療法士
- ・言語聴覚士
- ・看護師
- ・栄養士
- ・調理師
- ・事務員(簿記のできる方)
- ・教諭
- ・養護教諭
- ・学芸員
- ・司書

(2) 募集人員

- ・各職種とも若干名

(3) 給与

- ・当法人給与規程によって支給されます。

(4) 勤務時間

- ・変形労働時間制による週40時間勤務(交替の勤務です)
- ・週休2日(年間休日104日)
- ・年次有給休暇(初年度10日) ・厚生休暇12日(夏季5日・冬季7日)

(5) 福利厚生

- ・健康保険・厚生年金・私学共済・労災保険・雇用保険・退職共済
- ・子どもたち及び大人の方々の生活を知っていただくため、寮を用意しております。(個室)

(6) 提出書類

- ・履歴書(自筆・写真貼付)
- ・成績証明書
- ・健康診断書
- ・最終学歴の卒業(見込み)証明書
- ・各種資格(免許取得証明書又は資格証の写しまたは、取得見込み証明書)
- ・志願理由の作文(字数、様式自由)
- ・家族の承諾書(様式自由)

(7) 書類提出先

〒436-0221 静岡県掛川市上垂木2979-1 ねむの木学園
・選考書類在中と朱書して下さい。

(8) 選考方法

- ・面接

(9) 選考日時

- ・ご応募いただきまして、後日、ご本人にお知らせします。

(10) 見学はいつでもお越し下さい。(要事前連絡)

ねむの木学園の主要な教育活動・事業

1 美術展

第1回	東京都渋谷・東急百貨店	1976年12月
第45回	ストックホルム・クルトウールヒューセット	1983年11～12月
第54回	東京都日本橋・高島屋東京店	1987年8月
第55回	パリ・市立近代美術館	1987年12月～1988年1月
第68回	ニューヨーク・ジャパソサイアティー	1991年5～6月
第70回	ドイツケルン・日本文化会館	1991年9～10月
第71回	イタリアローマ・日本文化会館	1991年11～12月
第72回	大阪市・心齋橋そごう百貨店	1992年5月
第78回	北九州市・小倉そごう百貨店	1994年5月
第79回	横浜市・横浜そごう百貨店	1995年5月
第84回	大阪市・梅田スカイビル40階 空中展望台	2001年3～4月
第86回	佐世保市・ハウステンボス美術館	2003年3～6月
第88回	「ねむの木のこどもたちとまり子ガラス展」東京都銀座・ギャラリー新居	2004年5月
第90回	東京都現代美術館	2005年7～8月
第95回	東京都六本木・森アーツセンターギャラリー	2007年6～7月
第98回	金沢市・金沢21世紀美術館	2009年4～5月
第100回	東京都港区・青山アートスクエア	2012年10月～12月
第101回	横浜市・横浜そごう美術館	2014年3月
第103回	東京都中央区・東京銀座画廊・美術館	2016年5月

2 国外における講演

- ・ニューヨーク、ストックホルム、サンフランシスコ、ワシントンにて世界こどもの教育会議に参加、講演は大きく反響を呼ぶ。
- ・北欧表現芸術セミナーに招待参加 スウェーデン・ヨテボリ 他

3 コンサート

- ・全米特別芸術祭に5人のこどもがダンスで参加（ワシントン） 1984年5月
- ・こどもの城開館記念コンサート「かがやくこどもたち」（東京・青山劇場） 1985年11月
- ・文化庁芸術祭参加公演「星が見える心」：芸術祭賞受賞（東京・砂防会館） 1989年10月
- ・「宮城まり子とかがやくこどもたちⅣ」（神奈川・厚木市文化会館15周年記念） 1993年9月
- ・「もうひとつのねむの木、情熱色の人、しょうご」個展 1994年3～4月
- ・「宮城まり子とねむの木学園のこどもたち ふれあいコンサート'94」（宮崎市制70周年記念） 1994年5月
- ・「ねむの木学園27年目のコンサート（東京・五反田ゆうほうと）」 1994年6月
- ・「宮城まり子とねむの木のこどもたち」（神奈川・横浜国立大会議場新都市ホール） 1995年4月
- ・「宮城まり子とねむの木のこどもたちコンサート」（東京・新国立劇場中ホール） 1998年10月
- ・「宮城まり子とねむの木学園コンサート」（東京・新国立劇場中ホール） 1999年9月
- ・「宮城まり子とねむの木学園コンサート」（大阪国際会議場） 2001年3月
- ・「宮城まり子 愛・愛・愛」（東京芸術劇場） 2005年12月
- ・「宮城まり子とねむの木学園コンサート」ねむの木学園創立40周年記念（静岡・グランシップ） 2008年3月
- ・「宮城まり子とねむの木学園のこどもたち」（東京・銀座ヤマハホール） 2013年2月

4 映画

- 「ねむの木の詩」- 1974年- 国際赤十字映画祭銀賞受賞 他
- 「ねむの木の詩がきこえる」- 1977年- 国際赤十字映画祭スペシャルグランプリ受賞・第19回毎日芸術賞受賞 他
- 「虹をかけるこどもたち」- 1980年- シダラック賞受賞 他
- 「A BIG HAND FOR ALL CHILDREN」- 1984年-
- 「HELLO KIDS!」- 1986年- ヴァルナ国際赤十字映画祭特別功績賞受賞 他

5 ねむの木学園関係図書

画集	ねむの木の詩 第1～3集	宮城まり子編著
画集	NEMUNOKI	宮城まり子編著
画集	ねむの木学園こども美術館	宮城まり子編著
画集	ねむの木のこどもたちとまり子	宮城まり子編著
画集	ねむの木学園のこどもたちとまり子の美術	宮城まり子編著
戦仕度の日々-ねむの木のこどもたちと-		宮城まり子著
まり子の目こどもの目-ねむの木学園の教育発見-		宮城まり子著
絵本	ほんとにみたんだもん	宮城まり子著
	まり子の校長日記	宮城まり子著
	なにかが生まれる日	宮城まり子著
	ねむの木・まり子・こどもたち	宮城まり子著
	またあしたから	宮城まり子著
写真集	ねむの木学園 愛の風景	宮城まり子編著
	やさしくね	宮城まり子編著
約束		宮城まり子著
	まり子の「ねむの木」45年	宮城まり子著
	おかあさんへ	宮城まり子編著

ねむの木学園長宮城まり子受賞歴

(1) 福祉・教育活動に関して

○ 厚生大臣賞	1968年
○ 第7回吉川英治文化賞	1973年
○ 森田たまバイオニア賞	1974年
○ 第12回ギャラクシー賞	1976年
○ 第1回 中村屋サロン賞	1977年
○ 厚生大臣賞	1978年
○ 内閣総理大臣賞	1979年
○ ヘレンケラー教育賞	1988年
○ 静岡県知事賞	1990年
○ 辻村教育賞 財団法人心身障害児教育財団	1991年
○ エイボン女性大賞	1991年
○ 日本顕彰会賞	1992年
○ ベスタロッター教育賞 (広島大学教育学部)	1992年
○ Sacred Soul Award-Culture Care (セイクリッド・ソウル賞)	1994年
○ 博報堂教育特別賞	1994年
○ 高木賞	1996年
○ テレビ静岡グランプリ大賞	1997年
○ 心の賞 (経営と心の開発の会)	1998年
○ 特殊教育120周年 特殊教育功労賞	1998年
○ 尾崎罌堂賞	2000年
○ 石井十次賞	2004年
○ 名誉都民顕彰	2005年
○ 茶道表彰	2006年
○ 静岡県顕彰	2007年
○ 日本クリエーション大賞	2009年
○ 叙勲 瑞宝小綬章	2012年

(2) 文化活動に関して

○ 文化庁最優秀映画賞 『ねむの木の詩』	1974年
○ 第16回児童福祉文化賞 『ねむの木の詩』	1974年
○ 第6回国際赤十字映画祭銀賞 『ねむの木の詩』	1975年
○ 文化庁最優秀映画賞 『ねむの木の詩がきこえる』	1977年
○ OCIC賞 (ORGANISATION CATH-OLIQUE INTERNATIONALE DU CINEMA)	1977年
○ 第7回国際赤十字映画祭 特別大賞	1977年
○ 日本映画ペンクラブ賞	1978年
○ 第19回毎日芸術賞	1978年
○ 第20回ブルーリボン特別賞	1978年
○ 文化庁最優秀映画賞 『虹をかける子どもたち』	1980年
○ 日本ジャーナリスト会議賞	1980年
○ アデライデ＝リストーリー賞 (イタリア)	1980年
○ 国際赤十字映画祭において、フランスよりシダラック賞	1981年
○ 国際赤十字映画祭特別功労賞	1987年
○ 芸術祭賞	1990年
○ 東京都文化賞	1993年
○ 児童文化功労賞	2000年
○ 静岡県都市景観賞最優秀賞 (静岡県知事賞)	2000年
○ 公共の色彩賞	2002年
○ ゴールデン・グローリー賞	2007年